

日本語教育の標準に関するワーキンググループの進め方について（案）

【目 標】

日本語教育小委員会における検討の基礎資料とするため、日本語教育の標準について以下の(1)(2)を中心に検討を行い、参考となる資料を取りまとめ、小委員会に報告する。

- 1) 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について（以下、「標準的なカリキュラム案」という）や、「JF日本語教育スタンダード」を参考に、日本語教育の標準を策定する。その際「言語のためのヨーロッパ共通参照枠（CEFR）（以下、CEFRという）を参考とする。
- 2) 文字（ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字）を含む日本語のレベル別能力記述を策定する。

【日程（予定）】

6月10日（月）11：00～	第1回日本語教育の標準に関するワーキンググループ
----------------	--------------------------

- 日本語教育の標準の現状と課題
- 日本語教育の標準の策定に当たってCEFRを参照することについて
- 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について
- 国際交流基金「JF日本語教育スタンダード」に関するヒアリング
- 検討作業について
 - ①CEFR補遺版(The CEFR Companion Volume with New Descriptors)の翻訳作業及び分析
 - ②標準的なカリキュラム案の能力記述のCEFRの共通参照レベル振り分け検討
 - ③標準的なカリキュラム案及びJF日本語教育スタンダードを参考とした日本語教育の標準(素案)の作成
 - ④文字について

⇒6月24日（月）第2回日本語教育小委員会

9月（日程調整中）	第2回日本語教育の標準に関するワーキンググループ
-----------	--------------------------

⇒9月20日（金）第4回日本語教育小委員会

10月（日程調整中）	第3回日本語教育の標準に関するワーキンググループ
------------	--------------------------

11月（日程調整中）	第4回日本語教育の標準に関するワーキンググループ
------------	--------------------------

「日本語教育の標準について（一次報告）」ワーキンググループ試案

⇒ 12月 第5回日本語教育小委員会

⇒ 1月 第6回日本語教育小委員会

令和2年2月～3月：国語分科会に第一次報告案の提出、審議

令和2年度中：意見募集を経て第一次報告を取りまとめ